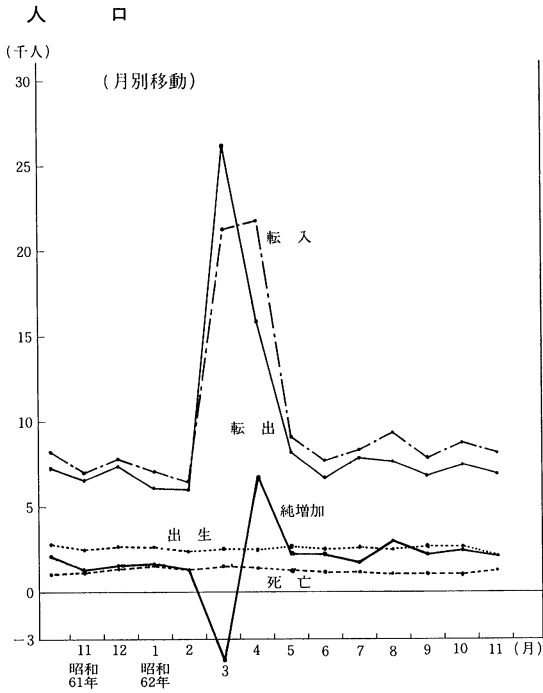
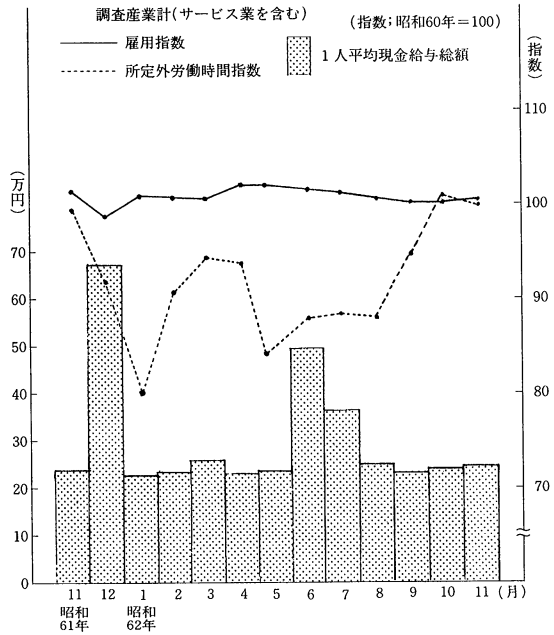


● 今月の主な動き

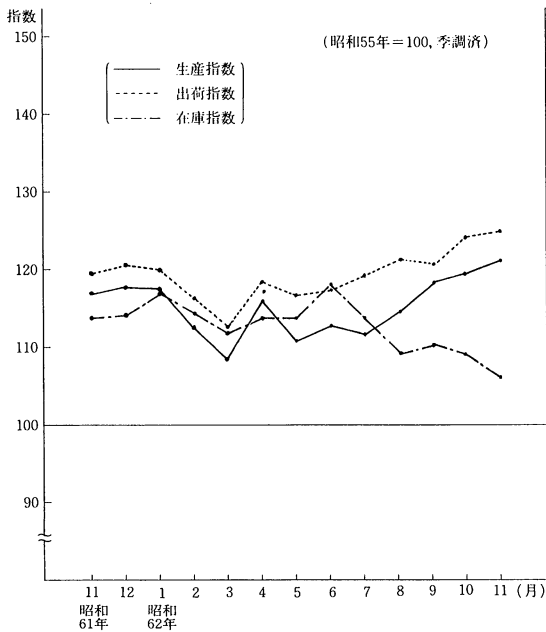
今月の主な動き



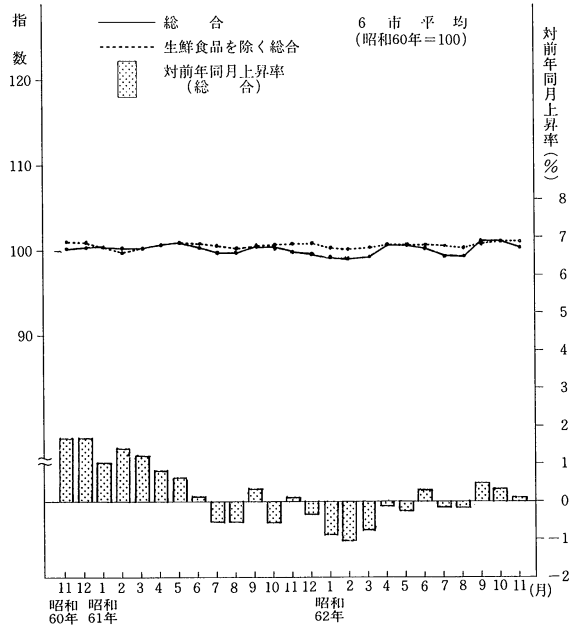
賃金・労働時間・雇用



鉱工業指数(生産・出荷・在庫)



消費者物価指数



主な動きのあらまし…………… 企画部統計課

■ 人 口 (12月1日)

本県の人口は、11月中旬に2,281人増加し、12月1日現在で2,774,851人(男1,383,028人、女1,391,823人)となった。

内訳は、自然動態で1,073人(出生2,499人、死亡1,426人)、社会動態で1,208人(転入8,259人、転出7,051人)、それぞれ増加した。昨年12月1日現在と比較すると、数で24,653人、率で0.90%の増加である。

また、11月30日に誕生した「つくば市」は111,373人であり、4番目に多い市である。

市町村別では、増加が20市41町村、減少が24町村、増減なしが4町である。

世帯数についても、1,043世帯増加して、784,776世帯となった。

■ 賃金・労働時間・雇用 (11月)

1. 平均賃金の推移

11月の常用労働者1人1ヵ月平均現金給与総額は247,603円で前月に比べ1.5%増(前年同月比3.5%増)であった。

このうちきまって支給する給与は243,307円で前月に比べ0.6%増(前年同月比4.7%増)であり、特別に支払われた給与は4,296円で前年同月に比べ2,610円減であった。

2. 労働時間

総実労働時間数は180.2時間で、前月に比べ1.7%減(前年同月比1.4%増)であった。

このうち所定内労働時間数は162.0時間で、前月に比べ1.7%減(前年同月比0.5%増)であり、所定外労働時間数は18.2時間で、前月に比べ1.1%減(前年同月比11.6%増)であった。

3. 雇用の動き

雇用の動きを雇用指数(昭和60年=100)によってみると100.5で、増減率は前月に比べ0.0%で変わらず、前年同月に比べ1.6%減であった。

■ 鉱工業指数<生産・出荷・在庫> (11月)

本県における昭和62年11月の“鉱工業指数”(昭和55年=100)は、季節調整済指数で、生産が121.3、出荷が125.0、在庫が106.4で前月比は、生産が1.5%の上昇、出荷が1.0%の上昇、在庫が△2.3%の低下であった。前年同月比(原指数)は、生産が4.0%の上昇、出荷が4.7%の上昇、在庫が△6.5%の低下であった。

業種別に前月比をみると、生産では、鉄鋼業、電気機械工業、石油・石炭製品工業等が上昇し、一般機械工業、木材・木製品工業、金属製品工業等が低下した。出荷では、

電気機械工業、一般機械工業、鉄鋼業等が上昇し、石油・石炭製品工業、鉱業、食料品・たばこ工業等が低下した。在庫では、鉱業、石油・石炭製品工業、繊維工業等が上昇し、精密機械工業、一般機械工業、金属製品工業等が低下した。

特殊分類別にみると、生産では、鉱工業用生産財が上昇し、建設財、非耐久消費財等が低下した。出荷では、資本財、耐久消費財等が上昇し、非耐久消費財、鉱工業用生産財が低下した。在庫では、その他用生産財、耐久消費財が上昇し、資本財、建設財等が低下した。

■ 消費者物価指数 (11月)

昭和62年11月の茨城県消費者物価指数は、総合で100.3(昭和60年=100)となり、前月比△0.7%の下落、前年同月比0.1%の上昇となった。

今月上がった主な項目……衣料1.5%、家賃0.2%、調理食品0.1%、外食0.1%、他の家具・家事用品0.1%、シャツ・下着0.1%

今月下がった主な項目……果物△19.6%、野菜・海草△5.8%、他の光熱△2.1%、油脂・調味料△1.8%、乳卵類△1.3%、魚介類△1.0%、教養娯楽耐久財△1.7%

生鮮食品を除く総合は101.0となり前月と変わらず、前年同月に比べ0.2%の上昇となった。

費目別指数

(昭和60年=100)

区 分	指数	上昇率(%)		区 分	指数	上昇率(%)	
		対前月	対前年同			対前月	対前年同
総 合	100.3	△0.7	0.1	保健医療	103.0	0.0	0.9
食 料	98.2	△1.9	△0.6	交通通信	100.9	0.0	1.1
住 居	105.9	0.2	2.9	教 育	110.1	0.0	5.3
光熱・水道	89.7	△0.1	△2.9	教養娯楽	100.9	△0.1	0.0
家具・家事用品	99.2	0.0	△0.5	諸 雑 費	102.9	0.0	0.4
被服及び履物	105.0	0.8	△0.2	生鮮食品を除く総合	101.0	0.0	0.2